

平成21年度「鎌ヶ谷市献血推進協議会」会議録

日時 平成22年3月18日(木) 午後1時30分から午後2時5分まで

場所 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター 4階会議室

出席者 下記名簿のとおり

鎌ヶ谷市献血推進協議会委員(敬称略)

号	会長等	氏名	所属等	出欠
1	会長	堀江 直茂	社団法人鎌ヶ谷市医師会 副会長	出席
		加藤 伸	社団法人鎌ヶ谷市医師会 議長	欠席
2	副会長	藤木 哲郎	千葉県習志野健康福祉センター長	欠席
	(代理)	進藤 悦男	千葉県習志野健康福祉センター 副技監	出席
3		菊池 修次	鎌ヶ谷市商工会理事	出席
		篠田 雄一	鎌ヶ谷ライオンズクラブ保健奉仕委員	出席
		川崎 幸子	鎌ヶ谷市赤十字奉仕団委員長	出席
		飯田 洋人	鎌ヶ谷市小中学校PTA連絡協議会理事	欠席
		中島 立也	鎌ヶ谷ロータリークラブ社会奉仕委員長	出席
		後関 俊一	鎌ヶ谷青年会議所委員長	出席
		秋澤 幸雄	鎌ヶ谷交通安全協会副会長	出席
		舟生 國昭	鎌ヶ谷市自治会連合協議会副会長	出席

関係者

氏名	所属等
小林 導	日本赤十字社千葉県赤十字血液センター献血部長

笠原 哲	日本赤十字社千葉県赤十字血液センター献血推進二課渉外係長
福留 浩子	健康増進課長
木暮 光代	課長補佐
佐藤 太郎	予防係長
利根川 信治	予防係

傍聴の人数 0人

議題

- (1) 平成21年度献血実施状況等について
- (2) 平成22年度献血推進計画(案)について
- (3) その他 会長・副会長の選出について

会議次第

- 1 開会
- 2 委員、関係者及び職員紹介
- 3 議事
- 4 閉会

健康増進課福留課長

「本日は皆様、公私ともにお忙しいなか、ご出席ありがとうございます。」

「私は、鎌ヶ谷市役所健康増進課長の福留と申します。平成21年度ご協力いただいている鎌ヶ谷市献血推進協議会に対しまして、日本赤十字社から昨年10月28日「銀色有功章」が授与されました。ご報告申し上げます。」

<会議次第2 委員、関係者及び職員紹介>

「ご出席の皆様の自己紹介を、資料1ページの順番で御願います。それでは、医師会の堀江先生お願いします。」

堀江委員

「医師会の堀江です。前年度会長として、携わってきました。本日はよろしく御願います。医師会、加藤は本日所要により欠席のため、次は、習志野健康福祉センターの進藤様、御願います。」

(各自自己紹介)

健康増進課福留課長

「ありがとうございました。続きまして、会長・副会長の選出についてですが、例年、会長は1号委員、鎌ヶ谷市医師会の先生から、副会長は、2号委員、千葉県習志野健康福祉センターのセンター長にお引き受け願っております。今回も、会長は医師会の堀江先生に、副会長は、習志野健康福祉センター長の藤木哲郎様にお願いするということによろしいでしょうか。」

一同

「異議なし。」

健康増進課福留課長

「ありがとうございました。」

「それでは、堀江会長よりご挨拶をお願いします。」

堀江会長(議長)

「委員の皆様におかれましては、たいへんお忙しい中、鎌ヶ谷市献血推進協議会に出席いただきまして、本当にありがとうございます。皆様の貴重なお時間をいただくわけですが、どうぞ御協力御願いたします。」

健康増進課福留課長

「ありがとうございます。それでは、引き続き会議を開催いたします。はじめに、資料の確認をいたします。本日の会議資料は、席次表・会議次第・委員名簿・資料編です。不足しているものがありましたらお知らせ下さい。議事の進行につきましては、堀江会長よろしく御願いたします。」

<会議次第1 開会>

堀江会長(議長)

「それでは、ただいまより、平成21年度鎌ヶ谷市献血推進協議会を開会します。」

<会議次第3 議事>

堀江会長(議長)

「ご質問の内容によりまして、市役所健康増進課、あるいは千葉県赤十字血液センターの方からご説明させていただきます。それでは、事務局の健康増進課の方から資料の説明を御願いたします。」

健康増進課

「はい。それではお手元の資料のご説明をさせていただきます。おもに議事の内容は2つございまして、一つめが『平成21年度の献血実施状況』について、二つめが、『平成22年度の献血推進計画』についてとなっております。

資料の3ページと4ページをご覧ください。」

(資料に基づき説明)

「3ページは、鎌ヶ谷市主体の、事業の内容となっております。会場はイオン、市役所、鎌ヶ谷警察署の他、市内の小学校でも実施しました。不適の方が多く、ご来場いただきましたが、残念なところです。」

「4ページは、赤十字血液センター主体の、事業の内容となっております。市内の各事業所にて9日、12回実施していただきました。市主体の実績がなかなか伸びないなか、血液センターさまにご助力いただいている状況であり、ありがたく思うと同時に、市主体の実績向上に努めなければならないと痛感しております。血液センターの皆様、ありがとうございます。」

「市主体及びセンター主体の事業の成果は、5ページのとおりとなっております。達成率は、千葉県内でもやや低い市町村のひとつとなっております、事業の活性化を図る必要がございます。」

「達成率でございますが、昨年、菊池委員より前年比や過去の実績・近隣市のデータをというご要望がありましたので、資料編をご用意させていただきました。その達成率をみますと、平成19年度が、200ml 58%・400ml 51%・合計で53%。平成20年度が、200ml 67%・400ml 49%・合計で53%。平成21年度が、200ml 60%・400ml 44%・合計で47%という状況でございます。県内の他の市町村と共に、若者の協力者増、複数回献血者増といった改善策を実施して行く必要がございます。」

「次に、二つめの、『平成22年度献血推進計画』についてご説明いたします。資料の6ページから8ページをご覧ください。はじめにあります、『平成22年度献血目標』は、1月に開催されました、『千葉県献血推進協議会』におきまして決定され、県庁から通知のあった内容です。『献血可能昼間人口按分率』によりまして、各市町村に割り当てられた数値で、千葉県内では、200ml 31,600人、400ml 139,720人の全血献血合計171,320人が設定されています。」

「表中の採血予定人数ですが、県庁薬務課のマニュアルにより、1日では、400mlは40人、200mlは10人と設定しております。」

「今年度も含めて、献血事業の活性化のために、懸垂幕を作成しました。3月は、千葉県が、『千葉県献血推進強調月間』と定めさまざまな広報啓蒙活動を展開し、安定的な献血者の確保を図っているところです。市役所正門の左がわに、けんけつちゃんのロゴを使用した懸垂幕が設置されております。市民の皆様への啓発に役立てばと考えております。」

「また、9月24日と23年3月25日ですが、新規の事業所として、鎌ヶ谷市南部の『ヨークマート東道野辺店』に御協力がかなうこととなりました。従来の会場の設定では、例えば市役所とイオンなど、近すぎて、重複してしまうような課題がございましたので、今回千葉県赤十字血液センターの泉さま他の御協力のもと、ヨークマート様の御協力をいただける運びとなりました。今

年度もうすぐですが、3月26日金曜日にも、第一回目の献血が、早速ヨークマートさまで開催される予定です。血液センター様のご尽力に感謝しております。」

「こちらの、『平成22年度献血推進計画』につきましては、数ヶ月にわたりまして、先ほど述べましたヨークマート様等の事業所に交渉した結果、千葉県あてにも計画としてご報告させていただきました内容です。どうぞ、皆様のご承認をいただきたいと考えております。」

「21年度の実績をふまえて、(案)として、協力団体のお名前をいれさせていただきますいております。ご検討ご承認をよろしく御願いたいと思います。以上です。」

堀江会長(議長)

「それでは、千葉県下での、献血の状況について、『千葉県赤十字血液センター』、ご説明を御願います。」

日本赤十字社千葉県赤十字血液センター小林献血部長

(資料に基づき説明)

「『最近の献血状況』というお手元の資料をご用意いたしました。需要が伸びておりまして、供給数が対前年比5%(増)、献血者数も、同じように5%増。昨年(平成21年)は、リーマンショックの影響によりまして、また、新型インフルエンザの流行によりまして、急遽、『献血中止』というような団体がございまして、官公庁に13回、実施してカバーしたような状況です。865名予定していたものが、593名。約300名ほど減りました。」

「需要は10%ほど伸びております。毎月、1月までは順調なのですが、特に1月は血液の需要がひっ迫する時期でございまして、次のページをご覧くださいなのですが、(千葉)県内の、血液の供給状況です。平成21年度のグラフの状況が、毎月毎月、非常に供給量が伸びております。12月に入って109%。1割を超えるような伸び。各血液型が、それぞれの需要に合った確保ができるかどうかといと、非常に難しい状況でございまして、他の血液センターを通じて、まわしているような状況です。それが、次の3ページめにございます。」

「受け入れと払い出しの数字が書いてございますけれども、特に12月は、814単位の、他センターからの供給をしていただいております。19・20・21年度で2418単位も、受け入れと払い出しの差がございまして、(不足血液を)他県からいただいているような状況です。」

「献血は伸びてございますが、(医療機関への)供給量が、それを上回るような月もございまして、伸びる傾向が強い。東葛地域の大病院が、血液を使っております。心臓関係の病気で大量に使っております。他県からの援助がなければ立ち行かない状況もございまして。もう一つは、『献血者の少子高齢化』

の影響がございまして、若者の献血数が伸び悩んでいます。若年層対策ということでいろいろPRを行っていますが、いかんせんなかなか困難な状況です。」

「献血をやっていただく方というのは、50歳未満が80%。血液をお使いになる方というのが、50歳以上が80%。年金と同じように50歳を境にしております。お年寄りを中心とした血液の需要が高まっていくと、将来的に血液の確保というのが、重要なのでございますけれども、皆様方のご助力を賜りながら努力して参りたいと考えております。」

「次に、献血をする際に、できるできないの基準がございまして。英国滞在歴のある方の制限が解除になりまして、従来は英国に1日以上滞在した場合は献血できなかったわけでございますけれども、『1980年から1996年の英国滞在歴が通算30日までの方は、献血にご協力いただくことができるようになりました。』従来は、日本が一番厳しい状況でございました。」

堀江会長(議長)

「ありがとうございました。一通りご説明がございましたが、分かりにくいことやご質問等ございますか。」

菊池委員

「献血車の稼働率は。増えているのですか。」

日本赤十字社千葉県赤十字血液センター小林献血部長

「献血バスは、一台あたりの献血される方が少なくなってきています。献血車を増やしてやっている状況です。移動献血車10台で、稼働を増やすということでの対応をしています。」

堀江会長(議長)

「その他になにかご質問等ありましたら御願います。」

菊池委員

「どのように分析していますか。」

堀江会長(議長)

「事務局御願います。」

健康増進課福留課長

「努力をしないといけない状況にございます。」

堀江会長(議長)

「幕を出しているということですね。」

健康増進課福留課長

「正面玄関の左にございます。」

堀江会長(議長)

「他にになにかご質問等ございましたら。」

「ありがとうございました。」

「それでは、『平成22年度献血推進計画』について、ご承認いただけるようでしたら、拍手を御願います。」

(一同拍手)

堀江会長(議長)

「ありがとうございました。拍手多数と認めます。」

「9ページの、22年度ご協力いただける団体の(案)についてですが、新しく、今年からヨークマート東道野辺店。今までは、市役所とジャスコが地理的に近いということでもう一つということがございました。ご同意の場合は拍手を御願います。」

(一同拍手)

堀江会長(議長)

「拍手多数と認め、ご承認いただきました。」

「22年度は、事務局から、懸垂幕を利用するとの方針を聞きました。また、新規の事業所として、ヨークマート東道野辺店の方の協力もいただいているということです。皆様の御協力も期待しております。」

「それでは、最後に、なにかご質問等ありましたら御願います。」

<会議次第4 閉会>

堀江会長(議長)

「特段ないようでしたら、これをもちまして、『平成21年度鎌ヶ谷市献血推進協議会』を閉会します。今日はたいへんお忙しい中、皆様の貴重な時間をいただきまして、ありがとうございました。」